

医療

知っておきたい医療知識

シリーズ

歯科治療最前線

「歯髄炎(しずいえん)」

虫歯や歯周病あるいは知覚過敏の症状がひどくなり、継続的に歯の痛みが続くと「歯髄炎」の疑いがあります。歯の中核といわれる歯髄は重要な役割を持っており、歯髄を残すことは非常に大切なことです。そこで今月号では「歯髄炎」を取り上げました。

重要な役割を持つ「歯髄」

歯の中心部には神経と血管および結合組織で構成されている「歯髄」があります。歯髄は歯の硬いエナメル質や象牙質、セメント質で守られていますが、歯を健康な状態で維持する上で歯髄は重要な役割を持っています。

虫歯がひどくなったり、何らかの原因で歯が欠け、象牙質や歯髄まで到達すると痛みを生じます。例えば冷たい物や暖かい物を食べたり飲んだりする時に歯がしみたり、食べた後、ズーンときたり、急にズキン・ズキンと痛くなったりすることがあります。痛みがすぐに消える一過性の痛みだと「知覚過敏」という状態が多いですが、継続的に痛みが続く多くの場合は歯髄炎を発症しています。神経に痛みが出ているということになります。歯髄の中に歯の神経は皮膚などと違って「痛覚(つうかく)」、つまり痛みしか感じません。歯髄炎は「生活歯(歯髄が生きている歯)」のみに起こります。歯髄が死んでしまった状態を「失活歯」といいますが、歯が枯れ木みたいな感じになり、割れやヒビが入りやすくなります。

症状が軽度のうちに治療を

歯髄は歯にとって最も重要な部分であることは前述の通りですので、

専門医からのアドバイス Q&A

「歯髄炎」



熊本インプラントセンター 添島 義樹 院長
日本口腔インプラント学会 専門医
厚生労働省指定 臨床研修指導医

なる一歩手前の症状を「歯髄充血」といいます。炎症が進行するに連れて歯髄が死んでしまうと、歯の中で腐敗し、歯の周囲組織に悪影響を及ぼすことがあります。

Q 歯髄炎の症状や発症する原因は何でしょうか？
A 我慢できないくらい激しい痛み(はくどうつう)が起きたりします。原因として一番多いのは虫歯が進行し、歯髄まで波及するケースです。もう一つは、歯の象牙質が楔のように削れてくることを「楔状欠損(くさびじょうけつそん)」といいます。その欠損が歯髄まで到達して発症する場合もあります。また、歯周病から歯髄炎になることもあります。

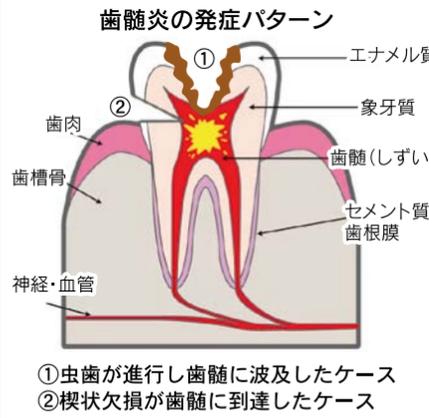
Q 歯髄炎の治療や予防法を教えてください。
A 基本的には虫歯の治療を行います。歯が痛み出して歯科医院を訪れる患者さんの多くは、その段階で歯髄にダメージを受けていることが多いのですが、症状が軽ければ歯

Q 歯髄炎とはどのような歯科疾患ですか、教えてください。
A 歯は一番外側にエナメル質、そして象牙質、セメント質と硬い組織で覆われ、その内側に歯の神経と血管を含んだ歯髄があります。この歯髄に何らかの原因で炎症が起ること

を歯髄炎と呼びます。また、歯髄炎に

きるだけ残しておくに越したことはありません。虫歯の治療は比較的軽い状態であれば、虫歯を削って、欠損している部分を充填や被せ物で補ったり、薬剤を詰めて歯髄に伝わる刺激から保護して、歯の機能を取り戻すことができます。

炎症がひどく、歯髄を残すことができない場合は、歯髄を取り除き歯根の中を清掃・洗浄・消毒する「根管治療」を行い、被せ物や詰め物を入れて処置します。歯を残すことが難しい場合は抜歯し、ブリッジ、入れ歯、インプラントなどで補うこととなります。



①虫歯が進行し歯髄に波及したケース
②楔状欠損が歯髄に到達したケース

くください。

(社)日本口腔インプラント学会指定研修施設
熊本インプラントセンター 添島歯科医院
熊本市中央区桜町1-28 桜町センタービル205
TEL 0120-354-508
http://www.soejima-sika.com/

コミュニケーション講座
魅力ある人間力アップに向けて (第16回)

人は、ひとりでは生きて行けません。さまざまな形で支えあって生きています。それぞれが持つエネルギーを見つけ、見守り、引き出す。コミュニケーションは、人と人をつなぐ原点ともいえます。家庭、職場、近所付き合い、友人との付き合い、その全てがコミュニケーションであり、人生を楽しむこと、エネルギーアップにもつながります。ここではさまざまなコミュニケーションのとり方についてアドバイスします。

「心の平衡を保つ コミュニケーション」

津川 育子

「ストローク」と言う言葉を聞いたことがありますか？ 私達の身体は、食事・睡眠など必要としています。不足したり、無い状態では健康に暮らしていくことができません。心も、健康であるために同じようなことがいえます。ストロークとは大切なコミュニケーションの行為です。ストロークとは、心の栄養源になります。この栄養源が仕事や日常生活での活力やモチベーションとなっていくます。ストロークを使ったコミュニケーションには、スキンシップ(肌のふれあい)を通じたタッチストローク(肉体的ストローク)と、言葉や無言のはたらきかけを通じたマインドストローク(心理的ストローク)があります。そしてそれぞれに、ポジティブ・プラス・肯定的な側面と、ネガティブ・マイナス・否定的な側面を持っています。プラス・肯定的なストロークは、人を前向きな気持ちにさせる心の栄養源です。栄養源がたくさんあると、好循環なスパイラルをつくっていくエネルギーとなります。与えるべきストロークが手許にあってもそれを他人に与えない、欲しいストロークがあっても、他人に求めない

北島 武典さん(45)
熊本リパティ法律事務所 弁護士
(熊本市中央区花畑町)
10月1日に開設した当事務所では、民事・刑事・家事事件、企業法務などを全般的に取り扱い、特に離婚問題に力を入れます。家庭問題の相談を入り口とした経営相談も増えており、ニーズの高まりを感じています。

十時 暁子さん(64)
サロン・ド・高陽 代表
(熊本市中央区新町1丁目)
足湯スペースを備えた健康サロンを熊本第一高校近くにオープンしました。松の葉エキス入りの入浴剤をメインに販売しています。保温効果があり、身も心も温まります。健康になるためのお手伝いをしていきたいですね。

宇野 祥子さん(31)
グレイセス 代表
(熊本市西区田崎1丁目)
三陽自動車学校 田崎校南東側に女性限定のフェイシャルエステサロンをオープンしました。完全予約制のプライベートサロンとして、お肌の改善はもちろん、皆さまへの癒しを提供していきたいですね。ご予約をお待ちしています。

早井 秀夫さん(39)
ベンリー熊本日赤病院前店 店長
(熊本市東区帯山9丁目)
雑事を代行する 便利店をオープン。ハウスクリーニングや水周りのメンテナンス、草刈り枝切り、害虫駆除などを専門のスタッフが対応します。ご高齢の方などお困りの際はぜひ気軽にご利用していただきたいですね。